

第3回瑞浪市環境審議会 会議録

- 日 時：平成30年3月2日（金） 14：00から15：10まで
- 場 所：市役所西分庁舎2階 入札室
- 出席者：委 員 海道清信（会長）、溝口博敏（副会長）、安藤精志、岩島孝之、
加藤栄子、河瀬進、三戸憲和、柴田幸一、永井恒、丸山多美子、
水野幹隆
- 欠席者：委 員 請井裕美、清水芳樹、松崎英之、
- 事務局：鈴木創造（経済部長） 小栗英雄（経済部次長兼環境課長）
加藤龍嗣（環境課環境政策係長） 今井健人（環境課環境政策係）

■議事

事務局 第3回瑞浪市環境審議会を始めます。
それでは、会長よりご挨拶をお願いいたします。

会長 最近春めいてきましたが、今回で第3回の審議会になり、特段の波乱がなければ、今日でまとめにしたいと思います。
今日の議事は、お手元の資料にあります第2次瑞浪市環境基本計画について、まとめの議論をお願いします。そして、前回の審議会後にパブリックコメントがありましたので、結果報告と合わせて審議をします。
今回いただいたご意見を反映させ、修正・加筆を行い、それをもって後期基本計画にしたいと思いますので、ぜひ皆様の活発なご議論等をお願いします。

①第二次瑞浪市環境基本計画（前期）の評価について

②パブリックコメント実施の報告について

会長 施策体系と目標値を中心とした後期計画案の審議と合わせて、パブリックコメント実施の報告もしていただき、一括して皆様にご議論をお願いします。
それでは、事務局より説明をお願いします。

<事務局説明>

会長 後期計画について事前に資料で確認されていると思いますが、ご意見、ご指摘等あればよろしくをお願いします。
第2章は、全体を通した目標であることや、現行の基本計画にもありますので、大きな変更はできません。

委員 山林や森林、里山などいろいろな言葉が出てきています。ある部分では森林を使い、他では山林となっていますので、整理していただきたいです。

次に、これは森林計画との絡みがあると思いますが、6ページにあります森林整備補助事業を活用したことについて、松枯れや倒木、災害による土砂流出等、細かな取り組みの記載が欠けているのではないかと思います。

次は、7ページにあります、森林の伐採後の針広混交林化や広葉樹化の植林を行ったことについて、達成率も間伐の数値であって、混交林化の数値もお伺いしたかったです。

そして、8ページの水質浄化では、土岐川のごみが景観上あまりよくありません。特に大水の後では、発泡スチロールなどが河川敷や川岸の木に引っ掛かっています。こういった木は、川にすむ鳥獣のことを考えると伐採は不可能と思いますが、計画には、河川のごみに関する点が足りないのではないかと思います。特に、砂防河川にそういったことが見られます。47年に砂防河川が所々崩れましたが、ほとんどが放置されていたので、そういった点への取り組みが足りていないと思います。

事務局 森林、山林、里山の使い分けは、それぞれの意味合いがございますので、注釈を入れるなどして対応いたします。

そして、土岐川のごみや河川敷の木に関することは、河川管理の話になっており、ほとんどが県の管理でありますので、施策に反映させにくいところではあります。

委員 景観上よろしくないという話でありましたが、県ではどういった取り組みが行われているか、よくわかりません。

事務局 河川のごみに関しては、すべて伊勢湾に流れて行ってしまい、昨今、そういったごみが原因で発生するマイクロプラスチックが環境問題になっています。そういった問題への対策も必要ですので、40ページで河川に関する部分に加える形で検討します。追加につきましては、本日終了後に、いただいたご意見を反映させた上で、文言等は会長と相談しますので、よろしくお願ひします。

委員 前回にもご意見いたしました。日吉のリニアの工事について、委員の皆様でどれだけ現地を見られたかわかりませんが、私が見たところ、山がだいぶ伐採されて土砂が搬入されています。一度、自分たちの目で見ることも必

要ではないかと思えます。

もう一つは、京都議定書が地球温暖化対策に向けて25%の温室効果ガス排出量削減を謳っていたと思えます。アメリカが議定書から脱退すると宣言もしましたが、国の方針も定かではないですが、瑞浪市もそれに対してどうするかお聞きしたいです。

もう一つは、昨年の中央道の事故の問題ですが、瑞浪市の基幹産業である陶磁器産業での事故ですが、流れ出た様を目の当たりにして今後どうするかお聞きしたいです。

そして、松ヶ瀬の浄化槽が新しくできて土岐川をきれいにしていくというのですが、できたことによって数値がどういった変化をしていくか知りたいです。

事務局

リニアの現場を見るべきではないか、というご意見でしたが、これについては、地域の課題としています。そして、リニアに限らず、環境問題の監視というのは継続していきまして、水質についても、昔から調査を行なっています。そして、あつてはいけないことですが、放射線についても、福島での事故があつて以来、市で線量の監視を行い、最近では南垣外公民館にて測定を行っています。そういったことは、例えば41ページの「河川において、観測地点の環境基準を超過した場合、原因を分析し、施策に活かします。」とあるように、それぞれの分野で対応いたします。

次の京都議定書の話ですが、現在のパリ協定のことだと思えますが、2030年に二酸化炭素の排出量を2013年比で26%削減するという国の公約がございます。それに向けて、施策の体系において40ページの「エネルギー循環の効率化」、具体的施策の「エネルギー消費の収支がゼロになる住宅の普及啓発を行います。」、「公共施設におけるCO2削減に努めます。」、そして44ページの具体的目標の「公共施設におけるCO2削減に努めます。」における、2013年度比で10%削減する、などの取り組みを行います。

中央道の事故について今後どうするか、ということですが、監視活動等について追加いたします。現に、環境美化監視員として市内30名の方が、日常生活において不法投棄監視活動をしておりますので、そういった取り組みを加えさせていただきます。

4つ目は、松ヶ瀬の浄化槽ということでしたが、恐らく下沖町にあります浄化センターのことと思えます。現在日吉町にあります、「し尿処理施設」を機能移転いたします。移転後、水質の変化をお知りになりたいとのことでしたが、先ほども述べた水質調査や、浄化センターから公表があると思えます。

委員 もう一つリニアの問題で、この先10年間工事が続きますが、長い期間工
事がありますと、大雨でもあった時には土砂崩れなどの事故が想定されます。
計画にも、そういった事故について記載があってもよいかと思えます。

会長 建設残土などのことと思えます。それについて、市はJRと協定など結んで
いますか。

事務局 リニアの南垣外工区につきましては、今週から掘削が始まりましたが、残
土はベルトコンベアで川の上流側に運んで埋め立てる計画を立てています。
その埋め立てについては、県の審査を受けて、調整池を設けるなど然るべき
手続きはとられていると認識しております。

会長 市は協定を結んでいますか。もしくは、県が代表して行っていますか。

事務局 県が代表して行っております。
⇒「協定」という形式ではなく、JRは土壌の検査等を行い、問題がある場合
は、「岐阜県地下水の適正管理及び汚染対策に関する要綱」に基づき県に報告
をすることになっている。(会議後の確認による。)

委員 残土は全量が上流に運ばれますか。山岡の東濃牧場のあたりにも運ばれる
と聞きましたが。

事務局 別の工区の搬入先だと思われませんが、候補地は県内いろいろな場所にあり
ます。

委員 リニア工事で、排水についても漁協に話が来ておりますが、想像もできな
いほどの量とうかがいました。鮎とはいきませんが、アマゴを放流して定着
するかどうか、悪いものが流れていないか漁協でも試みると思えます。

会長 将来的にも排水処理は行わないといけないのでしょうか。

事務局 工事中のみ南垣外川へ流入するとなっております。トンネル内で勾配がつ
いておりまして、開通すると全量可児川へ流れます。

会長 水質監視も県とJRになりますか。

事務局　　すでに県と JR が工事中の水質検査、土壌検査をおこなっております。水質は問題ありませんが、土壌の一部から、自然由来と思われるヒ素が検出されています。有害物質については、残土置場には入れないことになっています。

副会長　　地区別の課題ですが、表現について「必要です」、「必要があります」など統一されていません。

事務局　　統一した表現に修正します。

副会長　　もう一点、釜戸地区で瑞浪恵那道路が着工するとの記載がありますが、土岐地区には記載がありません。現在着工しているのは土岐地区ですので、その点はいかがでしょうか。

事務局　　特に環境に影響があると思われる課題について記載しておりますので、釜戸地区のみとなっています。

会長　　長期計画では、策定時点だけではなく計画期間全体を想定した表現というものも必要かもしれません。「川が流れています。」という表現は10年後も通用しますが、「進出が決まりました。」というのは、今現在の状況ですので、「進出に伴う環境配慮が必要です。」といった表現がよいかもしれません。

事務局　　それでは、エイ・ダブリュ瑞浪に関しては表現を修正いたします。

委員　　さっきのリニアについてですが、10年経てば一区切りつくとのことでしたが、日吉地区の課題部分に記載して対応したらいかがと思います。

もう一点ですが、農業委員会での情報になりますが、中央道では冬季にかなりの量の融雪剤が散布されたそうです。農家の方は、雨水等により河川や田んぼに流れ込むのではないかと危惧しているとのことでした。中央道がどの程度融雪剤を散布したか、それがどの程度河川に影響を与えているか調査をしていただきたい。

会長　　21ページのリニアに関する記載で、「本格化しています。」とありますが、先ほどもありましたが、「環境配慮が求められます。」といった表現がよいかもしれません。また、県が協定を結んでいることや、継続した調査についても記載した方がよいかもしれません。

中央道の融雪剤については、事務局は何か説明できますか。

- 事務局 情報は持っていません。成分的には有害物質ではないと認識しています。
中央道を管轄しているネクスコ中日本とは、騒音の改善要望を提出している関係で定期的にお会いしていますので、機会を見て確認します。
- 委員 「エネルギー循環の効率化」について、低炭素社会の実現を目指すということが最大の目標で、風力発電や太陽光発電が中心になってくると思います。民家の屋根に載せる太陽光発電により使用電力をゼロにするということはよいですが、ただ、休農地だとか、優良森林を開発してまで太陽光発電することは、二酸化炭素の吸収源も失ってしまいます。見境のない啓発であれば、問題だと思います。
- 会長 全国で太陽光発電はトラブルが発生していますが、国が一定の指針を最近示しましたが、いわゆる開発行為だとか建築基準法だとか都市計画法だとかの関係で現行の法令では規制しきれないですし、一方で景観だとか将来に向けた保全の問題もあります。さらに、再生可能エネルギーと言っても、吸収源である木を切ってしまうのもトラブルのもとになります。
- 事務局 4 1 ページの具体的施策「太陽光発電システムの普及啓発を行います。」のことだと思いますが、ここでは一般家庭用の屋根置きを想定しています。野立のものとは区別するために、表現を見直します。
太陽光発電の開発について、吸収源である森林を伐採することの議論もされておりまして、国交省が今後何らかの規制をかけるようですので、その方針が決まりましたら、市も検討したいと思います。ただし、一定の規模で線が引かれると思いますので、そこは課題になろうかと思っています。
- 副会長 先ほどご意見のありました森林、山林、里山などの表現ですが、現状で問題はないと考えます。
- 委員 七夕祭りについて、より市民がこぞって楽しめるものにならないかと思えます。ボランティアの方々も頑張っで見えますが、もっと市民参加型にした方がよいと思えますし、周りからもそういった話は聞きます。クレイオブジェなどいろいろな取り組みはされていると思いますが、更なる取り組みがあるとよいと思えます。
- 会長 そういった部分は記述に加えますか。

委員 具体的施策に反映させにくい部分だと思いますし、手法についても皆さんが試行錯誤されている部分だと思います。

昔は盆踊りがありましたが、今は隅に追いやられてしまったように感じます。市民の方も、来ればいろいろ回られると思いますが、最近、日中は大変暑いですし、人が来ていません。

会長 前期計画では、祭りの参加者数は、目標があったようですが、45ページにはありません。目標の設定はありませんか。

事務局 43ページの具体的施策には記載があります。目標値については、基本目標3が達成できるよう設定しておりますので、今回は除外しました。

委員 先ほどの七夕祭りの話もそうですが、今は人を集めるよりも、メンバーが60歳を超えて高齢化しているので、それを維持することも大事だと思います。

他には、発泡スチロールやトレイの回収に取り組んでいますが、実際に個々で回収している拠点がどの程度実績があるか知りたいです。

事務局 拠点ごとの実績は把握しておりません。最近、県内で発泡スチロールの処分について問題がありまして、瑞浪市では、事業所から出たものは産業廃棄物という扱いの考え方になります。岐阜市では一般廃棄物という扱いになりますが、その区分によってリサイクルの許可が変わってきますので、そこが問題になっております。

委員 内容について特に問題はないと思いますが、子供を持つ親として、少子化のことや、高校を出たら外に出て行ってしまうという話をよく聞きます。私の子供が、この先大学を卒業した時に、また瑞浪市に戻ってこの環境を守っていきたくなるような街にしていきたいと思います。

委員 44ページの農林水産業の鳥獣被害額目標値が0円となっています。これは、まだ数値が出ていないということでしょうか。

事務局 これは、対策により被害を根絶しようということで0円になっています。

委員 中央道の事故の件で、建設業組合が昼夜を問わず復旧作業にあたりました。

しばらくしてから、労働基準監督署にシリカパウダーの危険性を指摘されてマスク着用が必須になりました。そういった知識もありませんでしたが、そういったことなどを知るということも環境保全につながっていくのかなと感じました。

会長 それでは、修正箇所は、いくつか分散しているところもありますので、いただいたご意見を精査いたしまして、整理して十分反映できるようこの後期の基本計画を修正して案を取るような形で行きたいと思います。あとは、事務局と相談して修正等対応したいと思います。

②その他

<事務局説明>

会長 それでは審議会を終了します。

<15 : 10 終了>